



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

前々より原子爆弾や戦時中の出来事に興味があり、自主的に調べておりました。ですが、戦争や原爆経験者の高齢化が深刻な中、自分自身で調べ知識を身に付けるには限界がありました。私は、戦争の惨禍を二度と繰り返さないためにも、見える形にして戦争・原爆を残していきたいと思っています。近頃は、原爆を軽視するような外人も目立ちます。今回のお話を拝聴して、原爆の具体的な影響や、無惨にいた広島、長崎の街がどれだけの悲しみで包まれたかを思い知らされました。ただ、百聞は一見に如かずと言いますから、実際の悲劇を胸に刻むことはできないかと思っています。「経験していないから、どうでもいい」でなく、それでも知るうとする姿勢が平和を導くのだなと思いました。この度は、貴重なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は私たちにお話をしてくださりありがとうございました。原爆という言葉を知ると広島市の原爆ドームを思い出します。あの吹き出しになっている骨組みや、資料館、今回のお話で感じたのは、ひ爆者の方々の苦しみや、原子爆弾がとてもおそろしいものということです。7000℃という熱は今生きている大体の人が体験してはく、想像のできないもので、被爆地の近くに住む人達の様子を考えると核はあってはいけないもので、平和に生きるためには必要なものではないと覚悟しました。今まで原爆のことについてたくさん教えてもらったりしたことがありましたが、原爆先生のお話を聞いて、その時の状況の深刻さを知ることができました。

原爆資料館に行った時、コンクリートの上に座っていた男の人がとけた後に残ったシミを実物で見ました。とても象徴に残っています。

今の戦争のない平和な日本がいつ終わるか分からないし、今は世界でたくさんの核兵器を持っている国がたくさんあります。これ以上戦争で苦しむ人を減らすために、原爆の事を若い世代に受けつがせたい、多くの人に知ってもらえたら、戦争への意識が引きはまると思います。みんなで協力して、平和な世界になりますように。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

原爆先生、今回は大切なお話をしてくださって、ありがとうございます。原爆先生のお話は印象が強いエピソードが多かったです。最初は題名の7000℃の少年の意味がよく分からなかったのですが、最後は理解できました。私たちは原爆を体験していないけれど、原爆先生のお話からそのこわさや被害の大きさがよく伝わってきました。原爆はあってはいけないな、と思いました。今まで想像もすることができないものだった原爆が原爆先生のお話によってもっと大変なんだなと学びました。きのこ雲、太陽より高い温度などにはとてもおどろきました。今、日本は平和だけれど、戦争が続いている所が世界にはあるので、争いがなくなると良いと思います。もう二度と原爆によって苦しむ人や悲しむことがなくなつてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

今回は、私達のためにお話ししてくだ
 さり、本当にありがとうございます。
 私は長崎へ旅行に行った時、
 原爆資料館に行きました。その
 時に聞いた、被爆者の証言は
 文章ではあらわせないもので
 した。特に印象に残ったのは
 変形したビソ。ぐにやりとゆか
 んだ。その形は、どれだけの圧力
 と熱によって変形したのが、分
 かるほどでした。そんなひど
 いものを落とされなければなら
 ないほど、日本がていこうし続
 けていても、それを決定するのは
 ほんのひとにきりの軍人です。で
 も、被害を受けるのはいつでも
 弱い国民です。このようなこと
 をくりかえさないために、まず
 は知ることを続けていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

先日は素晴らしい授業をありがとうございました。当時の体験談や、原爆の温度など、様々な事を教えてくださり、ありがとうございました。爆発した原爆の表面温度が太陽より熱いことや、きのこ空のしくみは、とても激的でした。義三さんの体験談は、とても生々しく、どれも胸にささるものでした。どれも悲しく、まさに地獄でありました。最も興味深かったのは原爆を投下するようになった都市についてです。京都の地形などとても勉強になりました。原爆はすさまじい破かい力があり、爆心地近くでは人が蒸してしまう程だといえます。そのような事は二度と起ってはいけないと思いますし、罪のない民間人が巻き込まれるというのは、あってはならないと思いました。けれど、争いは絶えず、今日も多くの人が犠牲になっていることでしょう。私が、できることはほとんどありませんが、できることをしていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回はお話をしてくださりありがとうございました。学校ではこんなに細かいことまで学べなかったのでもとても良い勉強になりました。そして原爆についてたくさん学んだことで、より原爆の悲しさを知れました。もう二度とこんなことがおこらないように、私達も政治に参加し、世界を変えたいと思いました。原爆で今も苦しんでいる方々が少しでも元気になれるように私達は原爆の悲しさを広めて、世界中の人が原爆について知ってほしいと思いました。

広島は35万人中14万人も死んでしまう大きな事けんがあっても今の広島のように変えられることにとってもおどろきました。

原爆先生の特別授業で原爆が落とされてしまったあとの広島を見て今の広島を想像することができませんでした。これから今おきている戦争が少しでも早く終るようお願いいたします。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

今回は原爆について貴重なお話をしてくださり、ありがとうございます。

原爆については少し資料などを読んで知っていたけれど、改めて原爆先生のお話を聞いてとても痛々しく悲しいことだと思いました。しかし、このような悲しい出来事があったからこそ日本に平和主義ができて、核兵器をつくらないこと、つかあないことになりました。このように核兵器によって世界中様々な国が人間をそのようなひさんな目にあわないうように核兵器を世界からなくしていくべきだと思いました。

私はこの意見としては神のような破壊力をもつ核兵器は持つべきではないと思う。でも戦争は人間がいる限りずっと糸冬あらない。人間には欲望があるからだ。それでも我々国民として戦争について意識していきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生、貴重なお話ありがとうございました。今回のお話で、原爆がどれほど恐ろしい物なのか、具体化し、他の人に伝えられるようになりました。そして、日本にもう二度と原爆が落ちないよう、戦争をせず、みんなが助け合いながら生活しようと思いました。お話は、本当に自分がその場にいたようなわかりやすいお話で、自分で放射線について調べてみました。放射線とは、原子核などの反応によって放出される α 線と書いてありました。人体に α 線は、とても有害な物質です。ですから、 α 線がもう戦争や医療などで間違った使われ方がしないように、世界へ発進できるようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は貴重なお話をありがとうございました。原爆先生の授業を受けて、核兵器のいかに、どれだけの人がつらい思いをしたかを知ることができ、改めて戦争や戦争に参加したのかを考えさせられました。また、二回見させていただいた動画は、本当にインパクトがあり、原爆の悲劇を感じ胸が痛みました。一回目は原爆のしょうげきを感じましたが、二回目は科学的にも、どれだけ熱く、苦しい事だ、たのかを知った上で見たためか、被爆者の心情やつらさを強く感じました。私はこの事から歴史や原因を学ぶ、事の意義を深く理解しました。そして、死体の処理にあたり、たのが今での高校生であると思うと、とても怖く、二度とおこってはいけないな、と思います。被爆者の何とか生き延びようという思いと、それがかなわなかった現実も、とても痛々しく、完全に想像することもできません。今はつらい戦争がこの世からなくなることをお祈りし、もう少し大きくなれば、平和を目指し、できることから始めたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

本日は私たちに戦争のこわさについて、また命の大切さについてお話していただき、ありがとうございました。原子ばくだんは町や家、命も全てを焼きつくしてしまう本当におそろしいものなのだとは再認識し、絶対に世界のどこでも使ってはいけないと改めて強く思いました。特に心に残ったことは、階段に座っていた兵隊さんのお話です。原爆がとう下された後にその兵隊さんは消え、階段に黒いしみだけが残っていたと聞いて、現実のこととは信じられないほどおどろきました。原爆の表面温度が7000℃もあり、太陽の表面温度よりも高く熱風だけで1.2km以内に居た人は多く死してしまつたと本で読みました。このような悲きんできごとが日本でおこつたのに、世界のいろんな国ではまだ戦争が続いています。そして、核兵器を持っている国もあります。もう二度とどの国も核兵器を使わないうだれの命もうばわれることがないよう心から願っています。世界がいつまでも平和でありますように。本日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

先日は、先生のお時間を使って私達に原爆の事を教えてくれて、ありがとうございました。私は、特別授業を受講して、原爆や戦争の悲しさや、残さくさを改めて感じ、また、もっと深く知ることができました。爆心地などの温度を太陽や、鉄のとける温度などの例を出しながら説明してくださったおかげで、とてもわかりやすかったです。池田義三さんも、戦争のことや、原爆のことを思い出したくないから、言葉にはできない、という人もいる中で、勇気を出して、思い出しながら話してくださったことを、とてもありがたく思います。また、義三さんが人形を見た時に言った、「それすぎる」という言葉は、とても考えさせられました。ですが、その人形は、今は、こわい、グロテスクだ、という苦情が入り、展示されていないようです。義三さんの見た景色は、どれほどのものだったのか、命の危機を感じた今に感謝し



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今までは原爆のことをただの歴史として、戦争の原爆で広島と長崎が悲さんな目にあったという事として頭に入れていました。でも今日そのような考えではいけないとすごく衝けきを受けました。大切な人が一しゅん^{しゅん}で焼き殺される恐ろしさ、あの小さな3mの球によって生まれた何十万人もの悲しみ、それは経験していない私たちでは計り知る事ができません。ですがこの原爆を他人事として見れないです。あの時代のあのしゅ人間に私はいたかもしれないからです。そんな運で決まってしまうような世の中をにくまずにはいられないです。誰かが苦しまないと成り立たない世界。何もかも便利になった今でも平和な世界とは言い切れません。でも戦争に負けてしま、た私たちだからこそ原爆、人間の力の恐ろしさに気づき、平和とは何かを探ることが出来ます。今恵まれた環境にいる私たちだからこそ、この話を重く受けとめそれを後世に伝えていかなければなりません。原爆で亡くなった人たちにも伝えたい。原爆で多くの方が苦しみ亡くなった悲劇、これから私たちがやるべきこと、それを自分の言葉でしっかり後世につないでいくことを。今日はお話をしてくださり本音にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日は、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございます。原爆について、くわしく、現地でのことを知ることができました。

例えば、今、世界遺産に認定されて、「負の遺産」ともなっている「原爆ドーム」は、元々は、「広島産業奨励館」という建物だったことや、広島市の原爆は、表面温度だけでも、太陽の表面温度である 6000° に対して、 1000° Cも熱い 7000° Cであることから、自分では想像できないくらい、原爆が落とされた時は、地獄のようで、生きた人地獄かしないものであると思いました。また、題名にもなっている「 7000° Cの少年」という言葉は、表面温度が 7000° Cである、「リトルボーイ」という爆弾の名前からきたのだとお話をお聞きした後、わかりました。また、今、日本がすべきことは、被爆した国だからこそわかる戦争のことを、世界に発信していき、二度と核兵器による被害が世界に走らないようにする努力だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原火暴先生の授業を受講し、原火暴について詳しく知ることができました。

私は、1600m先に太陽の表面よりも約1000°高い物があり、火暴心地では、3000°という温度になり、そこにいた人が「黒いしみだけを残し消えてしまったこと」に衝撃を受けました。また、広島市の中では、5人に2人が死んでしまっていたことなどにもとても驚きました。そして、焼けてしまった後の町は灰色の世界が続いていったこと、原火暴「トルボーイ」を落とした飛行機が「トルボーイ」を切りはなした瞬間、高度を急激に下げ、中国山地の方へとにげたこと、衝撃波の音速の毎秒340mより速い毎秒440mで、衝撃波がはねかえって二回聞こえたことなどにも驚きました。広島の原火暴の恐ろしさや、戦争の恐ろしさについて感じることもできました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今までは軽い気持ちで聞いてきた広島原爆ですが、やはり実際にあつたときと強くはきりと聞かせていただきました。私は、2014年生まれで戦後69年生まれで戦争のない素晴らしい日々を当たり前と思ひ疑問に思つた事などありませんでしたが、お話を聞かせて頂きこの日々もたくさんの日本の先人の方々の尊い命が散りましたからこそこの日本という国があると思ひ今ある大きな問題が小さな問題に見え一人一人がちゃんと今の問題に取り組み解決する事やがんばつて戦争をなくすという意思が一人一人に必ず持つ事が先人のみなさんの悲願だと思ひました。なのでこの様な悲しい出来事があった事を忘れずにそして自分で世界を少しでも良い方に変えるという心を忘れずに今限られている残りの人生を生きたいです。そして今生きている幸せ、当たり前だと思わす、だれかのためにそして生きる事のありがたさをちゃんと実感したいです。あつたため、貴重なお時間お話しをありがとうございました。これからは聞いたお話しをちゃんと胸に置き、戦争について改めて考えたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆について、いろいろなお話をして下さり、ありがとうございました。
私が特に印象に残ったのは、原爆が爆発した直後の表面温度が
太陽よりも1000℃も高いということです。実際に太陽よりも熱い物が
落ちてきたら、とてもおそろしいので、広島と長崎で被爆された方は、
本当にすごいなと思います。全身をやけどしていて、亡くなっている
方を気持ち悪くなりながらも何人も運んだ義三さんたちの気持ちは、
とても強いなと感じました。あと、原爆を落とす候補となっていた地域で
一番おされていたのが、京都というのがおどろきました。私が年長の
時(4年前)に長崎の平和記念公園へ行ったのですが、そこで被爆
されたおじいさまのお話を聞いたことを今回のお話を聞いて、
思い出しました。そのおじいさまは、長崎でまた子どもの時
に被爆したそうで、大きな石を背にしていたおかげで大丈夫
だったそうです。義三さんも土管が積み重なっているところに
いたおかげで生き残れたとおっしゃっていたので、熱いだけでは
溶けたりしない大きな物の後ろにいると、熱さやしょうけき波から
まぬがれるのだなと改めて感じました。もう、原爆を二度と
落とさないでほしいなと思いました。非核三原則をもっと日本か
かかげて、アメリカ、ロシア、中国、北朝鮮など核兵器を持っている国
が核兵器をなくすようにしてほしいと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この間は原爆の特別授業をありがとうございました。原爆についてはあまり知らなかったの
で聞いている時はおどろきと恐怖布でいっぱいでした。特にしょうげき的だったのは、
リトルボーイが爆発したしゅん間の温度が太陽の表面温度よりも高い7000℃で、地表
付近でも金鉄がいっしゅんで溶ける温度の3000℃だったことです。人間が対抗する間も
ないまま、いっしゅんにして多くの命がうは"おれ
てしまったという現実には、決してくりかえしては
ならないことだし、あまりにも理不尽だ"と
思いました。義三たちが元安川でもはや人間の
姿ではない人間の死体をたくさん処理
した時の義三たちの生きた心地がしない
ほどの気持ちに簡単に「共感した」とは言え
ないけれど、自分だったら正気ではいられな
いと思います。こうした出来事をただ昔の関係
ない事として考えず自分がその立場だったらと
自分ごととして考えることが大切だ"と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回はおもしろい中、原爆についてのとても貴重なお話をしてくださり、ありがとうございました。7000℃の少年を聞いてわたしは、とても衝撃を受けました。なぜなら、7000℃という太陽よりも1000℃も高い温度の原爆が広島や長崎に落ち、多くの方が大けがしたり、全身をやけどしたりと、たくさんの方が命を落としたからです。たくさんの方を守っても、守れない命がたくさんあります。そんな戦争がこれから起きないためには、まずたくさんの方が原爆の大変さや戦争のつらさを知ること大切だと思います。戦争は小さなケンカからでも始まります。そのため、小さなケンカもすぐに解決していきたいと思います。原爆先生がしてくださった話をこれからもずっと忘れずに平和を大変にし、守っていきたいと思います。今回はおもしろい中、大切なお話をしてくださって本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今回は、貴重なお話を下さり、ありがとうございました。私は、前に、広島^の平和記念資料館と記念公園、そして昭和館に行きたさがあります。その時、見たもので一番印象が強かったものは被爆者の写真です。人混みでして見るのが、となくらい、言い表せない悲惨さがとてもおそろしく、池田さんがじゅくりーっっ見る様子におどろきました。そして、かなりリアルな人形を見て、「こんなに綺麗じゃない」この一言が、原爆のおそろしさを物語っていると私は感じました。たった一つの爆弾で14万人の死者を出すだけでなく、被爆した24万人や生き残った人、そして残された人の心までも殺す、こんなにもおそろしいものがある意味脅しのように使われていることにも、戦争という何も生み出さないようなことが、今もなお世界で起きていることに、歴史はくりかえすという言葉は、こういうことなんだと思いました。少しでも今を変えるために、自分ができるところを深めていきたいし、歴史をこれ以上くりかえさないためにも、後の世代に伝えたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回は、原爆についてのお話しをしていただき、ありがとうございます。

私は原爆が落とされると、きのこ雲ができることは知っていましたが、できる理由は知りませんでした。ですが、今回の授業を受けてよくわかりました。

また、原爆はものすごい力があるんだなと知ることができました。原爆が落とされるととても暑くなると聞いて、とてもおどろきました。

原爆ドームのもとの建物の写真を見ると今とは全然ちがうなと思いました。

原爆の力はすごいなと感じました。また、原爆が落とされた近くには原子力発電所があったと聞いて、当事の人はすごくこわかったと思います。

これからもよろしくおねがいします。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

このまえは、原爆先生の大切な時間をさいてまで、お話をしてくださり、本当にありがとうございました。

死ぬというのを考えるにふつうにくらせていることは、どれだけ幸せかをとても実感しました。戦争という大きなできごとをさらに至極を深めるように思うようになりました。

原爆の力は私の考えること以上に

おそろしかったのです。3000℃まで温度が上がっていったという事案を聞いた時は、とてもおそろしかったのです。いっしょに人が消えていなくなってしまうというところで、初めて知りました。

こんな残虐なことが世界に二度とおきないことを心から願っています。

改めて、今日は、大切なお話をしてくださり、本当にありがとうございました。

これからも、もっと原爆についての学習をしていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、きちょうな話をありがとうございました。
第二次世界大戦の時、わたしはまだ生きていなかったのて、その出来事は知らないのですが、この話を聞いて悲しいことがわかりました。

原爆の威力におどろきました。

第二次世界大戦でなくなった方、本当にかわいそうです。何千万、何百万とわずかな時間で人の命を消してしまう原爆はこわいなと思いました。

わたしは広島に、行ったことがあります。原爆ドームを見たことがあります。すごくこわかったです。

ひさい者には本当に何悪いことをしていないと、本心に悲しいなと思いました。

長崎原爆資料館が長崎にあり、まだ行ったことがないので、今度見に行きたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今日は、お話ありがとうございました。戦後81年目に突入する今、実際に被爆された方が亡くなり、日本人の記憶から戦争という大きな出来事が消えつつあると聞きました。だからこそ、私たちの世代で「知識のある世代」を終わらせないようにしたいです。お話の途中には生々しい表現もありました。未成年とか関係なく、大変な現場に送りこまれ、情景を想像しただけでも胸が痛みます。くり返してはいけない戦争という出来事を更に理解を深めたいです。放射能など人間の体を害するものに今も苦しめられている人がいるというのは本当に大変そうでした。もう二度と同じことをくり返さないようにするために少しでも戦争について考えます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日は、お忙しい中、私たちのために
貴重なお話をしてくださりありがとうございました。
池田先生のお話は教科書で
読む数字や言葉とは違い、当時の広
島の情景が目の前に浮かんでくるような圧
倒的な迫力がありました。一番心に残
ったのは、池田先生のお父様が体験された
想像を絶する苦しみと、それを「次世代に
伝えなければいけない」という強い使命感
です。これまで私は、原爆は「遠い昔に起きた
悲劇」だとして思っていました。しか
し、池田先生が一つ一つの事実を論理的に、そ
して情熱を持って伝えてくださったことで、平
和は決して当たり前のものでなく、私たち
一人ひとりの努力によって守り続けなければ
ならないものなのだなと強く実感しまし
た。「知る」ということは、責任を持つことだ
と思います。今日、池田先生から受け取
った「平和のバトン」を、今度は私が誰か



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私はもともと原爆についての本などを読んだことがありまし
た。なので原爆による被害を数値などで理解しているつもり
でいました。ですが、お話を聞いて数値だけではわからない、実際の
声があつたような気がしました。映像を見ている時、あまりの
怖さに手がふるえました。映像だけでも怖いのに実際だときっと
怖いなんて言葉じゃ表せないだろうし、怖いなんて思うこともでき
なかつただろうと思います。死体を運ぶ時の表現がすごいな
と思いました。生々しくて、想像しただけで吐き気がします。それ
でも運んだ義三さんは本当にすごいです。私だったらきっと、
こんなこと、したくないとなげだしてしまうと思います。原爆によつて亡
くなつた方の中には赤ちゃんだったりまだ私より小さい子も多かつ
たと思います。その子たちの未来が原爆によつてなせうはわれ
なまじいけはないのか。その子たちだけじゃなくて命をうばわれ、
未来がなくなつてしまつた人たちの分も今を生きることで生きて
いる私たちが生きて、未来を作り上げて平和な日本で幸せを
かみしめないといけなしいと思います。上手に生きなくても、生きる
ことに意味があるんだとお話を聞いて強く思いました。私は
実際に体験したこともないので、お話を聞いて、よかつたなと
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は、貴重なお話をしてくださり、ありがとうございます。

私が一番印象に残っているのは、原子爆弾が中が100万℃、表面温度は9000℃と、太陽よりも高温だということです。そして、原子爆弾は、熱線、衝撃波、放射線の3つの特徴があることを知りました。特に、放射線が怖いなと思いました。言ってみると、放射線を浴びると、がんなどにかかることがあることがわかりました。

きのこ雲は、上昇気流と少しの真空になっ
ている時間でできることや、一回の原子爆弾の
投下で、広島市民の約40%・5人に2人が
亡くなられて、約70%が被爆したことも
おぼろぎました。

今回のお話を通して、原子爆弾とは、とても
おそろしいもので、戦争は、もう二度してはい
けないんだなということを改めて思っ
ました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、非常に貴重なお話をしてくださり、ありがとうございました。

以前は、原爆と聞いても、「広島や長崎に落とされた核爆弾」というイメージしかなく、またそれ以上は原爆のことについて何も知りませんでした。

キノコ雲の発生のかた、はね返って飛行機に当たったほどの衝撃波など、細かい仕組みがよくわかり、同時に当時の悲惨さを鮮明に想像することができました。また、被爆者がまだ生きて、川に飛びこんだ時、水が沸騰するという事は少なくとも体の体温は100℃を超えています。普段生活していて、40℃の熱が出た時でも苦しいのに、100℃というと私達には考えがつかない温度だということを実感しています。研究者達から強く推奨されていた京都が、文化財の保持や日本人の気持を考慮し却下されたのは不幸中の幸いだと言った人に会ったことがありますが核爆弾というのは、どこに落とされても、どこか却下されても、不幸しか残らないと、私は考えています。人が蒸発し、景観だけが残ったという証言を知った時、広島や長崎に、小さな太陽が降ってきて、それが爆発したみたいだと考えた自分に、少しは恐怖布を覚えられた。今回の特別授業は、原爆が投下されたという悲劇を、改めて気付かされるものとなりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回はわざわざ学校に来てお話をしてくださり、ありがとうございました。

私は体調不良で学校を休み、先生の特別授業を受講することができませんでした。

「原爆って知ってはいるけれど、どれくらい危険なものなのかなあ？」といったフワフワした「なんとなく」のことしか知らなかったのも、先生のお話を楽しみにしていたので、大変残念です。先生からの直接的なお話は聞けませんでした。資料を見て思ったことや印象に残ったことをお伝えしたいと思います。まず資料を見ていておどろいたことは、

衝撃波の速さが音速を上回る 毎秒440m だったということです。私が知っている中で一番身近であり、速いものが「音」であつたのでかなりびっくりしました。そして、もう一つなるほどと思ったのが、

「死亡率40%」ということです。少ないのか多いのか私にはよくわかりませんが、感覚的には100人のうち40人が死ぬと考えると多いような気がしています。

お話を直接聞けなかったことが残念です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この度は、広島の実体馬喰をお話しただきありがとうございます。まず最初に観た英国のテレビ番組では座っている男性が一目瞬で消え去る、そしてその男性の重い影だけが残った合成映像を見た時、何とも言えない恐怖、孤独なんとも言えない、感情がわいてきました。ついさ、きまで座っていた人が、一目瞬で絶界の中に放り込まれたような虚無感を感じました。京都の美しい碁盤の目が原爆の餌食になったかもしれない、というのはびっくりしました。

"No more Hiroshima"という広島のスローガンは永遠に実現できるようにしたいです。

"ナガサキを最後の被爆地"も世界全体で実現できらなかつたら、広島・長崎の原爆死没者が死した意味が無いとおもいます。

どうかこの惨いことを糸色対くり返さないように後世にもきちんと伝たえて行かないといけません。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、とても貴重なお話をしてくださり、ありがとうございます。私は、「はだしのゲン」などを読んで、戦争のおそろしさを知っていたつもりでした。ですが、原爆資料館の女の人。あれでも、きれいすぎるのだと思っただけなのに、なぜかとても自分が自分でないような気持ちになりました。そして、そんなおそろしい姿にされてしまった人の気持ちを考えたら、いつの間にか、冷や汗をかいていました。日本は、唯一の被爆国として、原爆のおそろしさを世界に教え、地球全ての原爆をなくすのが日本の使命なのではないかな、と思いました。私は、妹や友達に、「戦争ってどう思う？」と聞いて、戦争のおそろしさを知っている人になりたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

先生のお話を聞いて、初めて原子爆弾の恐ろしさと、怖さを知りました。私は、原子爆弾で一番恐ろしいと感じていたのは、放射線でした。ですが、先生のお話を聞いてからは、熱線あつせんも放射線ほうしゃせんと同じくらい恐ろしいなと思いました。特に熱線の熱あつがまさか太陽よりも熱いとは思いませんでした。他にもきのこ雲きのこぐもになる理由では、原子爆弾はそうなる上に出来ていると思っていましたが、成層圏せいそうけんがあるからそういう形になるということが分かりました。このように、先生のお話で始めて知り、たり新しくいる人なことを感じたりしました。そして、一番「そういうことも起るんだ」と思ったのは、爆発の振動が地面からはお返って来たということでした。それは、私もびっくりしましたし、飛行機の名前や真空中に近い状態になることもすごく良い勉強になりました。とても貴重なお時間をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

この前は貴重なお話をありがとうございました。私は一度、広島に行ったことがあり、原爆ドームも見ました。その時、戦争について詳しくは知りませんでした。今回のお話を聞いて、原爆の恐しさ、そして次世代に語り継ぐ重要さを学びました。初めに動画を見て、心臓がバクバクとするほど怖い、と感じました。あれが現実にあつたことだと考えると今の日本は平和で良かった、と安堵しました。先生のお話で一番驚いたことは、原爆を落とす候補となつた都市に京都が入つていたことです。一番落とすのに効果的な場所だったからと聞くと、何とも言えず、戦争には卑怯さもあるんだな、と感じました。このようなことを二度とくり返さないためには次世代への語り継ぎが大切だ、ということも今回改めて実感することができました。機会があつたらもう一度、広島・長崎に行つて、平和について考えたいと思います。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、原爆などについて詳しくお話を聞ける機会を作ってください、ありがとうございました。

今回のお話は、改めて戦争などについて深く考えることができる内容で、お話を聞きながら、戦争について想像し、考えることができました。

前半で見た動画と後半で見た動画は、まったくの別物のように感じました。

最初見たときは、「ああ、こんなことがあってみんな苦しんでいたんだなあ。」などと思っていましたが、後半では、「これは、こんな目的で行われたんだなあ。」と考えながら見ることができました。

私は、今の日本は平和ですが、やっぱり他国で戦争している話を聞いたり、戦争の辛い経験の話を聞くと、戦争というのは、あつはならないものなんだと思います。

今回は貴重な話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

この度は、私たち六年生のために「7000℃の少年」という授業をして下さり、本当にありがとうございました。

この特別授業を受ける前から、広島県と長崎県に原子爆弾が落とされた事実は知っていました。ですが、今回原爆先生のお話を聞いたり、当時の映像を観たりして、1945年8月の悲惨を矢口しました。

私が一番印象に残ったのは、広島県や長崎県の他に原子爆弾が投下される候補になった者師市があったことです。実は、広島県ではなく京都府が一番有力な候補だったらしいのです。理由は、四方を山に囲まれた盆地だったからです。ただ、京都府には「人間にとって大事な文化財があり、壊してはいけない」という日本人の考慮して、投下されなかったそうです。私は、「そのようなことを考えるのなら、どこにも原子爆弾を投げる必要はないのでは」と思いました。

私は、今回この授業で「知言哉を得る」ことができました。世界では、今ウクライナなど4カ国で戦争が起きています。一刻も早く戦争が終わりますように、そして、もう戦争が起きず平和な世の中になりにますようにお祈りいたします。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原火暴先生へ
2月20日は戦争に関する、大
事なお言古もありがとうございました。今回原火暴先生のお
言古を聞いて、私が思っていたより
原火暴や戦争は怖く、そして
たくさんの方の命をうばった
とても怖い事だと改めて学び
ました。元気な私はせくな
たんたちのためにできる事もた
くさんやりたいです。そして、原
火暴をきっかけにもっとたくさ
んの事も知りたいです。たくさ
んの命をうばった戦争、原火暴はも
う起こらないでほしいです。もし
起こったとしても、今回勉強した
事を使った少しでも大切な命
を無くさせたいので、改めて本当
にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、とても大切な授業をありがとうございました。少し残った話でしたが、日本の音のことがよくわかりました。私は、家族と一緒に広島に行き、原爆ドームに行ったことがあります。広島県産業奨励館が原爆ドームのもとと聞いて、原子爆弾によって、やねがなく、ボロボロになってしまったことがわかりました。このお話の題名である、「7000°の少年」は太陽よりも1000°高くおどろきました。急に14万人の人達が何も無いことをしていないのに死んでしまった人だと思えば、涙があふれ出てきました。

今回の話を聞いて、広島と長崎の原子爆弾のことについて、もっと深く知りたいと興味を持ちました。また、長崎には行っていないので、長崎に行きたいです。

今日本では戦争がおこっていませんが、他の国では戦争をしている国もあります。一日でも早く戦争が終わり、みんなが幸せになることを祈っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生しゅこうの特別授業を受講して

表

今日は広島で起きた単戈争の
ことについて話してくたさりありが
とうございいます。私は原爆のこ
とを詳しく聞くのは初めてですごく
衝撃を受けました。一番心に残
ったことは原爆の周りの温度が
3000度もあることです。外に居た人た
ちが一瞬で消えてしまう所が衝撃的
でした。そして、原子爆弾が太陽の
表面温度より温度が高いことも知
れてよかったですと思いました。もう一
つ心に残ったことは雲のことです。今
まで原爆が落とされた時になぜ変な形
の雲ができたんだろうと思っていま
したか、今日お話しを聞いてなぜか解
けました。原爆が落とされた周辺が
真空になることも知らなかったの
でびっくりしました。今日原爆のこ
とについてお話しを聞いて単戈争
について少し興味を持てた気が
します。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この度は原子爆弾について詳しく説明してくださり本当にありがとうございました。私は、戦争は二度とくり返してはいけない歴史、としてとても興味があり、昔から戦争の資料を調べたりしていたので原爆について重く受け止めているつもりでしたが、まだまだ知らないことの方が多く「知る」ということに終わりはない、ということに気が付くことができました。被爆者の方が減ってきてしまっている今だからこそ、今を生きている私たちが歴史を受け継ぐ必要があるのだと思いました。これからも生きることができるところを当たり前と思わず、被爆者の方々を気にかけてながら、今を生きることができるところに感謝しながら生きていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して原爆そして戦争の恐ろしさがよくわかりました。受講していた時私はずっと自分がその時爆心地にいたらという想像が脳裏に浮かんでいました。

太陽の表面温度は6000℃で原爆の表面温度は7000℃ということを知り、人間はなんて恐ろしいものをつくれるんだらうと思いました。

それぞれ一つしかない大切な命が一つ失われるだけでもとてもつらいのにこんなにも大勢の方々の命が失われ、黒いしみだけを残していったことに大きな悲しみを感じました。これから私はこの広島に行った時には必ずこの授業を思い出します。現在も続いている戦争があると心に深くとめて生きていこうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて、私は戦争の恐ろしさを改めて強く感じました。これまで教科書やテレビで原爆のことを知っている「つもり」でしたが、実際に体験した方の話には重みがあり、胸が苦しくなりました。特に心に残ったのは、原爆資料館に行ったときにお父様がおっしゃったという「きれいすぎる」という言葉です。最初は、その意味がよく分かりませんでした。どうして「きれいすぎる」と感じたのだらうと思いました。でも本当の原爆は決してきれいなものではありません。その悲惨は、どんなに工夫された展示でも伝えきることはできない、ということを知りました。私はこの話を聞いて、平和は当たり前ではないことを胸に刻みました。そして、資料を見るだけでなく、その裏にある一人一人の人生を想える人になりたいと思いました。二度と同じ悲しみを繰り返さないために、これからも戦争について学び続けたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

金曜日は原爆のことについてお話して下さりありがとうございました。私は、8月6日広島に8月9日長崎に原子爆弾が投下されたぐらいしか先生のお話を聞く前は知りませんでした。ですが、この機会に原爆のことがわかりました。

お話を聞いて一番驚いたことは、原爆の表面温度です。原爆の表面温度は太陽の表面温度 6000° より 1000° も高いということに驚きました。

今まだ続いているロシアとウクライナの戦争を早く終わらせてこの世の中戦争をなくしいつか、核兵器をどの国も持たない世の中になっほしいと思います。

金曜日は貴重なお話しをして下さり本当にありがとうございました。またよろしくお願ひします。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、おいそがしい中、原爆の事について話してくださりありがとうございました。

池田先生のお話を聞くまでは、広島や長崎に原子爆弾が投下されたことくらいしか知りませんでした。しかし、先生のお話を聞いた後は、たくさんのお話や知識が身に付きました。特に印象に残ったお話は、太陽の表面温度さえ6000°なのに、それよりも1000°も高い7000°の表面温度があるということです。そのお話を聞いてしてもおどろき、こわかったです。とても勉強になりました。家族にも、今回お話をくださったことについて教えたいです。

今度、家族で「広島平和記念資料館」や「原爆ドーム」などを拝見して、原爆についてもっと知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、今回のお話を聞いて、今まで以上に原爆をおそろしく感じました。

また、今も原爆が世の中にあることにも、おそろしさを感じます。

最初に見た、動画は、お話を聞いた後に見た時とちがう動画を見ているように感じました。これからの世界は、原爆体験がありません。そこで、原爆のおそろしさ、戦争のおそろしさを伝えるのは、私たちだと思います。

いつ起こるか分からない「心配」をなくしたいです。

このしゅん間、戦争や紛争をしている方々の一日でも早い平和がおとずれるようにお祈りたいです。

原爆が落された出来事をわすれることがないように次の世代へと伝えていきたいです。

今回は、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

おいそがしい中、私たちに原爆の話をしてくださりありがとうございました。前半の動画を見た時にいつどこで爆発するのかわからないのでとてもこわいなと思いました。8月6日に広島県で原爆が落ちたということは知っていましたが、爆だんの温度や衝撃波の速さは初めて知りました。爆だんの温度は7000℃あったので太陽より熱いなと思いました。衝撃波の速さは毎秒440mなので思ったより速いなと思いました。私たちが平和に暮らせているのは、昭和の人たちが戦争などで苦しんだからだと思います。広島県へ行ったら、原爆ドームを見たり広島平和記念公園に行ったりし、亡くなった方々のためにお祈りをしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

大事なお話し、ありがとうございます。とても
しょうげき的なシーンの動画もありましたが、
本当にこの日本でおきた事なので戦争は、本当
（こしてはならないものだ）と思いました。私は
家族で長崎に行きました。長崎の原爆ドーム
に行、とても残酷な写真などがありました。
ですが原爆先生の話しを聞いたら、もっとと
残酷だったかがわかりました。最後へんの話し
で、レガ（おわ、ていた人）がレガに黒いシミだけ
にな、ていた。が、とても衝撃的だったのですが、
爆弾一つでこんなになるのは、本当に怖いです。
また皮膚までやけてしまった人達が、ツンビのような
手をなくな、てしまうのかがわかりました。その形に理
由があるとし、驚きました。

今アフガニスタンやウクライナなど、このような残酷な
形でなくな、てしまった方々に、天に、いて幸せにと
お祈りしたい、と思います。原爆先生が話し、て
くれた事を胸に刻んで、いきたく、と思います
です。本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、貴重な体験をさせてくださりありがとうございます。原爆についてのことは社会の授業で何回か触れてきましたが、ここまでわかりやてはいないので原爆がこんなにも悲しいことなのは初めて知りました。原爆ドームの元々の姿を見てこんなにも立派な建物が負の世界遺産になっているんだなと思いました。死体を担ぎながら歩いて想像でも辛いのに実際にやれと言われたら私は絶対にできないので当時の人にも言えないだけでそう思っている人は何人もいたのだらうなと思います。途中で見た原爆が落ちこ来る時の映像が一回目と二回目で見方が変わり、一回目では何だらうこれと思ったものも理解できました。

しゅうけい波で「あそまでの沢山の建物がこおされてしまうのを初めて知りました。原爆を落とす場所が京都になっていたら今の日本とどれくらい変わっていたのかか気になります。きのこ雲があの独特な形になる理由などの普段調べようとしたことなどいろいろなことを知れました。ニュースなどでは見れないことを学ぶことができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

先日は、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございます。先生のお父様が実際に体験された出来事を、丁寧に、そして真剣に伝えてくださったことに深く心を動かされました。言葉ひとつに重みがあり、当時の苦しみやおそろしさだけでなく、そこに込められた願いや思いまで伝わってきました。過去の出来事を知ることは簡単ではありませんでしたが、先生が受けついで伝えてくださったことで、平和について考える大切さを強く感じました。今の生活が当たり前ではないこと、そして未来をつくるのは今を生きる自分たちであることを、改めて心に刻むことができました。先生のお話を聞いた時間は、これからの人生にとって大切な学びとなりました。どうかこれからもお身体を大切に、たくさんの人に大切な思いを伝え続けてください。映像も見ていると、とても怖く感じました。当時の人々は、空から10000万℃の原爆が降ってくるなんて怖いし、熱からたてしょう。たくさんの方の命がうばわれ、私は、もう一生戦争をしてはいけなるとまた強く感じました。この思いを忘れる。人生を楽しみたいです。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、初等科まで足を運んでくださり、ありがとうございました。当時の様子が、とても目に浮かびました。

私が一番心に残っていることは、ポール・ティバッツが操縦していた「エノラ・ゲイ」はポール・ティバッツのお母さんの名前だったこと、「リトルボーイ」が4世もあること、候補となった都市に京都が含まれていたこと、死亡率が約40%で、5人に2人が原爆で亡くなられていたことです。

私は、原爆を直接見たり、身近に感じたりはしてきませんでした。しかし、そんなに遠く感じていられるのは、平和にほった過去があるからです。

私は、その平和を過去から未来へとつなぐために、未来にいるみんなが、平和、笑顔を忘れないようにしていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は私達のために原爆について、映像や画像つきでお話をしてくださり、ありがとうございました。私が印象に残っている所は、原爆が落ちて、階段にすわっていた男の人が一ルンで炭になったシーンで、たった一、二秒で、骨や肉も残らずきえていて、すごくこわいなと感じました。義三さんが、死体を運んだ時の話も、想像できないくらいの感覚だったと思うとこわいです。今だったら、こんな事考えられないけれど、当時はいつ原爆を落されるかわからない、不安の中で生きるのはとてもつらくて、苦しいものだったと思います。苦しんだ人たちの思いも考えて、人生を送っていきたくて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

お急がしい中光塩女子学園初等科に
 お走成しくださり、ありがとうございます。
 あらためて、戦争とは何なのかを考える良い
 機会になりました。原火暴先生のお話を
 聞き原子火暴弓弾がどれだけ人に悲小惨な事がお
 きたかが分かりました。人の形が分からないほどの大やけ
 とをした人や放射線による苦しめられた人、高熱で苦し
 んだ人がたくさんいたことを知りました。死亡率が
 40%という事におどろきました。半分くらい死して、
 原子火暴弓弾がどれほどおそろしい物だ、たか分
 かりました。私は、この事を二度くり返してはいけない
 事だし、忘れてもいけない事だと思いました。
 戦争が色々あり時は、とても流れたけれど次の時代
 にも、原火暴者の話を伝えていくべき事だと思
 いました。戦争の時の話や写真はこわくて、あまり見た
 くないし、聞きたくないと思うけれど、どうして戦争が
 越ったのかどうすればくり返さないでむかえることは
 大事な事なんだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

この間はとても貴重な話をしてくださりありがとうございました。私は家族と広島に行った時に原爆ドームや資料館に訪れました。ですから、原子爆弾や戦争の恐ろしさは知っているつもりでしたが、今回お話を聞いてその恐ろしさを改めて思い知らされました。その時、広島に住んでいた人の5人に2人が被爆したと考えると、いつか私たちも戦争に巻き込まれてしまうのではないかと思います。また、とてつもなく熱い熱と暴風のせいで一瞬で黒いシミだけを残して体が気体になってしまった人もいることを知って、骨までもがすぐ蒸発してしまう熱さなんて想像ができないのでとても怖いなと思います。「人が人じゃないみたい」という言葉がとても印象に残っていて、この先絶対に戦争はくり返してはいけないと感じました。戦争の恐ろしさや実情にあってきたことをどんどん後の世代に伝えていくことが大切だと思うのでそれを心掛けてこれ以上戦争で苦しむ人が増えないようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

先日は、お忙しいなか、私たちのために大切なお話をしてくださり、ありがとうございました。以前社会の授業で原爆について学んだので、とても恐ろしいものというのは分かってはいたけれど、今回特別授業を受講し、現在日本が平和であることの幸せさをより実感しました。戦争は、国と国の利害や価値感がぶつかり合い、話し合いだけでは解決できなくなった時に起こることが多いと思います。領土や資源の奪い合い、宗教や民族の対立など、理由は様々ですが、いずれの場合も多く命や生活が失われました。さらに、戦争は人々の心に深い傷を残します。私は、戦争に勝った国にとっても、本当の意味での幸せをもたらすのかと疑問に思いました。平和を維持するためには、「相手の立場を理解しようとする」と「あきらめず対話を続けること」が重要だと思います。これは、私たちの生活にもあてはまるので、友達と意見が食い違っても、相手の話を最後まで聞くように心がけます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、私たちのために特別授業としてくださり、ありがとうございました。広島で実際に起きたこと、進んで資料を見たり、体験談を聞いたりするとは自信がありませんが、日本人である私たちが絶対に忘れてはいけないことだと思いました。

いろいろな場面の話がある中で、一番印象に残っているのは、被爆者が両手を前に出して歩いている理由です。去年、「はだしのゲン」を読んだ時に、被爆した人たちは手を下ではなく前に出して歩いているのだろかと疑問に思っていました。でも、理由が、歩く時に月窟でぶるとヤけどに当たって痛いからということが分かりました。

日本では戦争をやっていませんが、世界では、ロシアとウクライナが戦争をし、イスラエルとパレスチナが紛争をしたりしています。まだこの世界が平和であるとは言いきれることができない中で、今回のような授業に参加したり本を読んだりすることで、この地球を平和に、そして「戦争」という言葉さえもない世界にしていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は貴重なお話をしてくださりありがとうございました。
ございました。

私はこれまで絵本を読んだり、丸木美術館に行ったりして、原爆がどれほど恐ろしいものかわかっていたつもりでした。

でも、今日あらためて詳しいお話を伺い、
基石楚知識を持ってから映像を観ると、
ショックや重みが違いました。

原爆投下の候補地の中で、実は京都が1番おされていた、というのは初めて知りました。

太陽の表面温度よりも熱い7000℃なんて、想像を絶します。

世界では核兵器を持つ国が増えています。

とても残念で悲しい気持ちです。

日本は唯一、戦争で原爆を落とされた国です。

私たちが、原爆の悲惨さを世界中の人たちに一生懸命伝えていかなければいけないと強く
思いました。

まだ広島をおとすれたことがないので、いつか行ってみたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は私たちのために原爆のお話を
してくださってありがとうございました。
私がとても衝撃的だったのは、
どんなに人種や国籍が違って、争い合っ
ていたとしても、同じ人類が住んでいる場所に
上空600mで爆発した時の温度が、
7000度にもなる恐ろしい「原爆」という
爆弾を落としてしまうなんて、絶対に
ありえないし、正気の沙汰ではないと
思いました。でも、そんなことが約80年前の
日本にあったと思うと、とても怖くなります。
今日本では戦争が起きていませんが、
世界ではたくさん戦争が起きています。
原爆を落とさないから、戦争をしていいわけ
ではありません。だからこそ、約80年前の日本
で起きた悲惨な事実を絶対に、絶対に
くり返さないように、どんなに辛い過去でも
目を背けず、に過ちをくり返されることのないように私
ができることからやっていたいです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

まず、お話をしてくださり、ありがとうございました。聞いて第一に思った事は本当にくり返してはいけないということです。今年の夏、広島市の原爆ドームへ行。た時、資料かんへ行。た時は恐らく遺言などが展示されているスペースで体調が悪くな。たので少し大丈夫かな？と心配していたのですが、そのような気持ちを持って聞いていたこともあり、より重く真けんに受け止めることができました。義三さんが資料かんに展示されている物を見て実物とはちがうとお。しゃ。っていたのを聞いてより一層悲さんで絶望の状きょうだ。たということを実感しました。今、アメリカがイランを攻げきしたりウクライナとロシアだ。たり、平和とはとても言えないじょうきょうで、今にも全世界に戦火が広が。りそうです。広島市の歴史を二度とくり返してはいけないと各国の指導者は分か。っているのになんで攻げきしてしまうのだろうと思。います。戦争に人間の弱さがとてもよく分。かると思。います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/20

先日は大切な原爆のお話をしてくださりありがとうございました。原爆という物が今後どれだけ使われてはいけないか、戦争は絶対にくり返してはいけないこととということに身染みて感じました。普段「当たり前」だと思ってしまうことやものも当時の方には無かったんだと思うと、日頃支えてくださっている周りの方々に感謝を忘れずに過ごしていかなければいけないと深く感じました。原子力を発見した1人の方は核兵器に原子力が使われるということに反対していたと聞いたことがあります。ですから原子力を単に戦争に使うのではなく、その知恵も何か自然への貢献に使えたら良いなと思いました。自分も、願うだけでなく、自分が平和のために何かできるかしっかりと考えていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この度は、大変貴重なお話をありがとうございました。

原爆には最初おそろしい殺人兵器としか思っていたのですが、今回お話を聞いて、原爆が乗っていた飛行機の名前やうけた人の状態はほとんど初めて知りました。お話を聞いていて、全身やけどを負って地獄の入り口を行ったり来たりするよりは何も気づかずにフワッと消えるほうが良いのではないかと思いました。

よしろうさんが原爆資料館で模型を見た時「きれいすぎる」と言っていたのが強く印象に残って本物はもっとひどい状態だったのかと思いました。私はまた平和記念公園や原爆資料館には行ったことがなくてあまり様子がイメージできなかったのですが、もし行く機会があったら目をそらすず、細部までしっかり見て説明もちゃんと読んで当時の人達に思いをさせてみようと思います。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

この間は、原爆のお話をしにいらして
くださりありがとうございました。

前半に見た動画は意味がわからな
かったり、こわいなと思った部分が多
かったです。でも原爆先生から後半に
いろんな説明をきいた後に見た
動画は、意味がよくわかり、2回目
だったのでよくわかりました。

原子爆弾投下都市の条件で平野
であることも1つの条件で正確かに
と思いました。原爆が下に落ちて広が
った時、温度は3000℃というのがとて
もびっくりしました。私は急に3000℃の
世界になることは想像も出来ません
でした。今ある原爆ドームと昔の広島
県産業奨励館を見くらべると改め
てとてもひどかったんだな、経馬さん
人たちの気持ちも想像しきれません
でした。こんなこともうくり返されたくない
と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回原爆先生の特別授業を受けて、戦争と原子ばくだんのこわさを改めて知りました。これまで社会の授業で広島原子爆弾投下や長崎への原子爆弾投下について学んだことはありましたが、実際に体験した方のお話を聞くと、本や教科書で読むのとはまったく違う重みを感じました。家族とすごしていた時間や、友達と遊ぶはずだった未来が一瞬で消えてしまったことを知り、とても悲しくなりました。今私達があたりまえのように学校に通い、友達と笑い合っていることは、決してあたりまえではないのだと思いました。私はこれから、戦争のことを忘れずに、家族や友達とも話し合い、平和について考え続けたいです。今回の授業で学んだことを、これからの生活に生かしていきたいです。本日は貴重なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のお話、本当にありがとうございました。前から太平洋戦争のことは知っていたけれど、今回のお話のおかげで原爆というものについてよく知ることができ、そして戦争ということもあらためてよく理解することができました。

原爆のことはひいおはあかんからよく聞いていて、太平洋戦争の時に生きていた人々は大変な思いで生活をしてきたんだなとずっと今も思っています。

今の日本は、戦争を80年前にやっていたとは思えないほどに楽しくて自分のやりたいことを好きなだけできます。このような日本になっているのは80年前の人々が苦学してがんばってこまできた形だと思えます。こういう時代からこそ戦争と平和の区別、太平洋戦争のことをこれからも忘れずに夢とかなえられなかった人々の分まで強く生きていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、広島・長崎の原爆についてのお話をしてくださりありがとうございます。

私は、広島と長崎に原子爆弾が落とされた、落とされた場所が焼け野原になっていることは知っていましたが、「リトルボーイ」や死者数、どのような状況だったのかは知らなかったため、詳しく知ることができました。

特に印象に残ったのが、原子爆弾の温度が7000℃で、それに直撃した人が川に入り、川が蒸発したというお話です。原子爆弾の威力は、とてもすごいなと思いました。人の皮膚、体が蒸発するくらい熱いということ想像するととても怖くなりました。太陽の表面温度が6000℃なのに対して、1000℃も高い原子爆弾の温度はとても恐ろしいです。自分は、わかっていると思ってる気になって、あまりわかっていないんだなと思う気持ちがありました。

もう二度とこのような戦争がおきないようにという思いを込めて、お祈りをしたいです。そして、同じ過ちを繰り返さないためにどうすればいいのか日々考え、家族と原爆について話し合ってみます。

本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことは広島と長崎に落ちて数多くの方が命を落として数々の人が大火傷を負ったことしか知らなかったけど原爆先生の話を聞いて広島での被害者はどんな姿だったのかということとなぜ広島と長崎に落ちたのかそして原爆が放たれて建物などがどうなったのかを知りました。私が一番記憶に残っているのは原爆で皮膚がとれて手を前に出して歩いていた時の絵ですなぜなら私は全身の皮膚がとれてしまう痛みはどれほどの痛みだったんだろうかと思ったりです。屋外に居た人は原爆によって消え去ってしまい黒いシミだけ残っていて原爆の温度はどれほど高かったんだろうかと思いました。私がこの授業で学んだことは原爆がどれほどたくさんの方の被害者が出ているかということを知りましたそして私は原爆の苦しみと心を込めながら過ごしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて印象に残ったことが二つ

あります。一つ目は、原爆の熱さの話です。

原爆が広島の上で膨張した時の外側の温度が
7000℃だということにとっても驚きました。太陽の表面
の温度ですら6000℃で、それを1000℃も上回る熱さの
球体が頭上にあつたらと考えるとぞっとしました。

その時の地上の温度も3000℃で、人は一瞬で蒸発して
影しか残らなかつたと知りました。何が起きたか考える
間もなく、この世から消し去られてしまった人たちが
いることを忘れてはいけなさと感じました。

二つ目は、義三さんが戦後、原爆資料館に行った時
の話です。私も原爆資料館に行ったことがあるのですが
中の写真や模型があまりに悲惨で過中、目をつぶって
しまうこともよくありました。ですが、そんな写真や模型
を見て、「きれすぎる。」といえるほどその時の広島は
地獄だったんだなと思いました。あらためて、原爆に
を落とされることが二度とくり返されないように唯一
の被爆国として世界に訴えていくことが大切だと
実感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、私たちのために戦争のことなどを教えてくださり、ありがとうございました。原爆ドームはもともと、広島県産業奨励館という場所だったことや、原子爆弾が落ちてくる時の一瞬には爆心地は真空状態になるということなど、初めて聞くことがたくさんあり、学びを深めることができました。原爆先生のお話を聞く前は戦争のことなので、泣いてしまうかもしれないと思いましたが、1ミリも泣くことがありませんでした。それは、この原子爆弾のことを聞いて泣いていたら、このことを後世に伝えることができないからだと思いました。少しこわいと思うこともありますが、このことを後世に伝えて、「ずっと戦後であってほしい」と思ってもらえるようになってほしいなと思いました。これからも、もっとたくさんを知っている人々に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

このまえは、お話をしてくださりありがとうございます。

私はお話を聞いて、戦争がどれほど大変か少しわかったかと思いました。ですが私はまだまだ戦争の大きさかわかりません。太陽は6000°、それよりも1000°高い7000°はとても熱いと思います。それをまともに感じた人たちは苦しかったと思います。太陽よりも熱いなんて、私には想像できません。

それと、日本は戦争で負けたのに今みたいに発展した事はすごいことだと思います。

戦争はいけなけれどあるいみ戦争のおかげで今の平和な日本がなかったかもしれないと思います。そう思うと少しゾッとします。

もう二度と戦争はあってほしくありません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は原爆の特別授業をしていただき、ありがとうございます。体験した人にしかわからない思いや気持ちとしてもよく伝わってきました。とくに印象に残った事は、2つあります。1つ目は、ばくだんがおちた時に感じた熱さです。音よりも先に熱さが伝わってくるなんてと、それほど熱いのだらうなと、いろいろ考えてしまいます。それに、げんせいの人は、どうした川にまちがえて入ってしまい、さらにくるしい思いをしたと思います。2つ目は、全身が焼けてしまった人です。顔まで真っ赤に染まるなんてどんなにつらかったらうと考えるだけで怖いのです。ずっと手を前にたらし、手の先からひびがたたれておちているなんて想像するととても恐しいです。昔は戦争がありました。今は平和です。私は日本が平和な時代に生まれて幸せなんだと改めて実感しました。私は昔あった戦争のくらしみを忘れず、今やっている戦争が早く終わる事をいのちしています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受け、私は原爆がもたらした被害の大きさと、その後も長く続いた苦しみについて深く考えさせられました。私はこれまでに原爆ドームや広島平和記念資料館を訪れたことがあり、当時の写真や遺品、被爆者の証言を目にして衝撃を受けました。だからこそ、今回のお話を聞いて理解がさらに深まりました。

また、今の平和な生活が当たり前ではないということに改めて気付かされました。何気なく過ごしている平和なこの瞬間も今までのたくさんの犠牲の上にあるんだなと思いました。そして、私は今回のお話で「歴史を知ることには、ただ悲しんで聞くだけでなく、もう二度と同じ過ちをくり返さないため」ということが分かりました。原爆ドームの近くにある原爆慰霊碑にもあるように多くの人が苦しむ戦争などの過ちは私たちが決してくり返してはいけないということとをこれから先も長く続けていかなくてはならないと思いました。今回は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、私たちのために原爆についてお話してくださり、ありがとうございました。これまで「恐ろしい」という感情的な理解だった原爆について科学的な仕組みや被害の実態を学ぶことができました。知識が深まるほど、その破壊力と人々の苦しみの大きさに改めて胸が痛みました。特に職業軍人ではない17才の少年が遺体処理にあっていた事実に強い衝撃を受けました。現在のオリンピックで活躍する高校生のメダリストと同じくらいの年輩いだと思えば、とても胸が苦しくなりました。また、ドイツが無条件降伏した後も日本が1国で戦っていることに啞然としました。古代ローマの歴史家のサルスティウスが「戦争を始めるのは簡単だが、終わらせるのは極めて難しい」という格言の通りなのだ、と思いました。今、世界で起きている戦争や紛争が1日でも早く終わってほしいと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は今回原爆先生の特別授業を受講してたくさんのおどろいたことがありました。一番おどろいたのは、原爆の熱さが上空で100万℃になることです。最初はあまりイメージすることができませんでした。太陽の表面温度が6000℃ということを知って、イメージがわきおどろきました。地上でも3000℃ということを知って、全身にやけどをおってしまった人が多い理由もわかりました。二つ目におどろいたのは、原爆を落とす候に横濱や京都もあったということです。京都は、歴史が深い都市なので、日本人をこうやって候にからはずされたのはとても意外におどろきました。今回原爆先生のお話を聞いて、原爆はしてもおそろしいなと感じました。また、このようなことはあってはならないなと思いました。このようなことを今後おこさないために私にもできることがあれば積極的にやりたいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今日はわたしたちのために時間を作ってくださり、本当にありがとうございます。先生が一生懸命語ってくださっているのを聞いていて戦争は本当によくないと思いました。戦争を1回することで、何万人もの人が犠牲者として、お亡くなりになってしまう。水くんでも何もすることができない、誰の心に残る悲しい戦争だということを学ぶことができました。これからの日本は戦争を起こさないのか、平和主義を守っていけるのかがとても不安です。ですから、

わたしは、これからも資料館に行ったり広島平和記念公園などに行き、手をあわせたりすることを1年に1回は必ずしたいと思っています。今年原爆資料館に行くと、多くの外国人観光客で混んでいました。その中にも、太平洋戦争で日本と戦った国のアメリカ人もいて、とてもおどろきました。

その時、わたしは意味が分からなくて、お母さんに「なんでアメリカがいるの。」と聞いてしまいました。すると、お母さんは「戦争で苦しんでいた日本人の気持ちを、まこと分かっていてくれるのだ。」と言いました。日本がアメリカのハワイを攻撃したのにも関わらず、自分の国だけじゃなく、日本の国の人のお身に代って分かるようにするアメリカ人の姿勢が今でも心に残っています。おため戦争はもう二度と



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今回は、わざわざお話ししてくださってありがとうございます
ございます。

前までは、そこまで原爆についてあんまり知りませ
んでしたし、私のことには関係ないやと思っていた
のですが、今回お話を聞いてみて、本当にたくさ
んのことを学んだし、自分は関係なかったか
らとか言っていた自分がすごく恥ずかしかった
です。

そして改めて、自分が関係がなかったとして
も、知らなくてはいけなかったことだし、その戦争
のせいでお世くなりになられた方々がたく
さんいらっしたので、そのような方々にもお祈り
をして、日本のために頑張ってくださいました人々
に感謝をしたりしなくてはいけないと、とても
実感しました。

戦争は、もう本当に二度としてはいけないな
と思いました。そして今戦争をしている国が
一刻もはやくと終わりますように。そう強く願
っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

先日、原爆先生のお話を聞いて、改めて平和の本当の大切さを考えさせられました。今までは、戦争や原爆は遠い昔の出来事のように感じていたが、義三さんの体験談を聞いて、今の私たちと同じように毎日過ごしていた人たちに、突然おこった悲劇的なことがわかって、こわくなりました。

先週にお話の中で心に残ったのは、義三さんが広島資料館へ行った時のお話です。展示されている資料を見て、義三さんが「きらいすぎる」と言ったと聞き、私は本当にびっくりしました。私たちがから見れば、資料館にあるものだけでも十分におそろしい内容です。でも、実際にその場でその光景を見た義三さんにとっては、展示されているものさえ本当の惨状とはかけ離れていると感じるほど、あの時見た景色は悲惨なものだったと気づかされました。

今、私が友達と笑い、家の方とおたがせかに過ごしているのは決して当たり前ではありません。原爆先生が教えてくれた義三さんの思いを、私はこれからも忘れないようにしたいです。

そして、二度と同じような悲劇がおこらないように、平和な世界が続くことを心から願っています。



名前は裏面に記入してください

じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回、原爆先生の特別授業を受講し、原爆の被害の大きさと戦争の恐ろしさについて改めて深く考えることができました。これまで「原爆については、教科書や資料で知っているつもりでしたが、実際の体験や思いを聞くことで、その重みは全く違うものだと感じました。

授業では、原爆が落とされた瞬間だけではなく、その後も長い年月にわたって多くの人が苦しみ続けたことを知り、また、何の罪もない子どもたちや一般の人々が巻き込まれたことに強い衝撃を受けました。

この授業を通して、平和は当たり前にあるものではなく、守り続けなければならないものだと気づきました。私にできることは少なく、小さいですが、今回の特別授業で学んだことを忘れず、平和について考え続け、また、周りの人に伝え続け、二度と同じ過ちが繰り返されないよう、平和を大切に、そして、平和をずっと続けていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

先日は広島、長崎で起こった原爆被害の恐ろしさについて特別授業を開催していただき、平和の尊さを再認識する機会となりました。

二年前の冬、家族で広島平和記念資料館へ足を運びました。

血のついた衣服、火傷をおった子どもたちの写真を見て、とても心が苦しかったことを今でも鮮明に覚えています。原爆後の後遺症など、戦争の恐ろしさを肌で感じられました。主人公の義三さんから戦争を生き抜いた先人の話を聞き、戦争の伝承者として、二度と悲劇を繰り返さないためには、戦争で起こった過去から学び、子どもたちや次世代に伝承していくことが大事だと思いました。また、子どもたちには人の痛みがわかる心を持ってほしいと願っております。

広島や長崎だけでなく、世界で核実験が行われている国もあり、各地で被害を生んでいる現状に、はやく世界中で核兵器を禁止し、地球環境を修復するために、人々が行動することが大事だと思います。「世界ではどんなことが今、起きているのか」を知り、学びながら、日本や世界中の平和のために考え行動してまいります。貴重な原爆についての体験記をもとにお聞かせいただき、感謝申し上げます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

先日は池田義三様の貴重な体験を伺う機会をいただき
ありがとうございました。ご自身も爆心地近くで被爆され
ながらも負傷者の看護にあたられるお話や、ご遺体を
処理されるお話はとても衝撃的で胸が締めつけられる
思いがいたしました。また原爆の温度にも大変驚かされ
ました。戦争や原爆の恐ろしさを数字としても強く実感
させられるものでした。伺ったお話すべてが想像をはるかに
超える凄惨な現実にもかわらぬ、数十年経った今この
時代でも世界では戦争が起きていることに虚しさを
感じてまいります。理解を深められる年齢になった子供達
が今回池田様の実体験に基づくお話を直接伺えたことは
大変意義深い学びにはったことと思います。今回のお話を
受け、夏休みほど長期休暇を利用して広島を訪れ、実際に
その地に立ち平和についてさらに深く学びたいと感じました。
家庭でも命の尊さと平和の大切さについて話し合いを
重ねてまいりたいと思います。
心に残る貴重なお話を本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

戦争体験者が年々少なくなると、お父様のお話としてこのような機会を得られたことは大変貴重でした。これまで歴史的事実として原爆投下を学んできましたが、実体験に基づく語りには、文字や映像では伝えきれない切実さと重けがあり、胸に迫るものがありました。

特に印象に残ったのは、皆が当たり前のように一日を過ごそうとしている時に、一瞬にしてその日常が崩壊してしまった様子です。閃光と爆風によって、断ち切りられ、多くの命が理不尽に奪われた現実には、想像を絶するものでした。また、被爆後も長年にわたり後遺症に向き合い続けたのは何となく、このこと、原爆の影響は決して一過性のものではなく、人生そのものに深い影を落とすものであることを痛感いたしました。

私は保護者として、子どもに平和の大切さをどのように伝えていくべきかと改めて自問し、戦争を直接知らない世代だからこそ、体験者の方の声を聞き、その記憶と教訓を継承していく責任があると感じました。平和は与えられるものではなく、

不断の努力と他者への想像力によって守られるものだということを、家庭の中でも折に触れて話し続けたいと思います。また、今ある平和な日常は当たり前ではなく、こうして暮らしている毎日を感謝し、未来の子ども達のためにも日々を守り続けたいと思います。

このような機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この度は、貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございました。原爆の破壊力や特徴、爆心地で人々が体験したことなど知らないことばかりで、たくさんの学びを頂きました。

義三の物語について。原爆爆発直後の、義三が見た地獄絵図の描写は想像をはるかに超えた悲惨極まりないものだった。少年兵たちの任務である爆心地から無数の黒焦げの遺体をついで運び出し、一か所に集めてガソリンをまいて焼く作業。焼き切れずか、たものはもう一度ガソリンをまいて焼く。延々と続く作業。真夏で腐敗の進む遺体。死臭。これらの体験は10代の少年たちにとってどんなにつらかったらうか。義三さんがその時のことを思い出し言葉を詰まらせ涙する場面は胸に迫り、こちらも涙なしには見られなかった。また後年義三さんが原爆資料館で被爆者の模型人形を見てただ一言「きれいすぎる」と発したことが全てを物語っている。その現場にいた人、現実を見た人にしか真の悲惨さはわからない。

この講座を是非海外でも行って欲しい。この事実を、悲劇を、たくさんの人に、世界中の人に知って欲しいと思った。特に原爆を落とした張本人であるアメリカ人に。彼らは何を感じるだろうか。原爆の下でどんな地獄絵図が広がっていたのかを知って。原爆は未来永劫二度と